

アスリート委員会の活動

本連盟には、トップアスリートが中心となり運営する、「アスリート委員会」があります。

2022年度は、アスリートによる社会貢献活動について、現役アスリートからさまざまな提案が出され、理事を交えて話し合った結果、①環境美化 ②募金活動 ③子どもへの普及活動 に取り組みました。

【ピンクリボンの募金活動】

9月に愛知県岡崎市で開催されISPSカップにて、会場内にブースを設置し、武藤弘樹選手、古川高晴選手、杉本智美選手らがピンクリボンアーチャーズキャンペーン(募金活動の愛称)への参加を呼び掛けました。これを皮切りに、全日本社会人フィールド選手権、全日本ターゲット選手権、全日本室内でも募金活動を行い、集まった募金は、公益財団法人がん研究会に寄付いたしました。



第6回 ISPS HANDA CUP 大会	2022年 9月17日～18日	愛知県岡崎市 「岡崎中央総合公園」	募金総額 279,630円
43回全日本社会人フィールド選手権大会	9月24日～25日	岩手県八幡平市 「いこいの村岩手」	
第64回全日本ターゲット選手権大会	10月21日～23日	東京都江東区 「夢の島公園アーチェリー場」	
第32回全日本室内選手権大会	2023年 2月11日～12日	高知県高知市 「県立春野総合運動公園体育館」	

被災地復興支援事業 福島県アーチェリー教室

11月20日に福島県・福島青少年会館にて、被災地復興支援アーチェリー教室を開催いたしました。この事業は、(株)堀場製作所様のご協賛により開催し、同社所属の林勇気選手と安久詩乃選手が、小学5年生から中学3年生まで20名に、丁寧に指導していただきました。



アーチェリー教室・ファミリー教室

本連盟では、アーチェリーの普及や、地域スポーツの活性化をはかる目的から、各種アーチェリー教室を開催しています。2022年度は、島根県、秋田県、群馬県で、それぞれ教室を開催いたしました。

